

1. あなたの住む場所の地形分類図を見る方法

Web で見られる地形分類図として以下の2つを紹介します。

1) 国土地理院の「地理院地図」

ここで、陰影起伏図と地形分類（自然地形）を重ねて見ることをおすすめします。

- ① まずは、[こちら](#) をクリックしてください。
- ② あなたのお住まいの場所へ移動しましょう。「検索」欄に地名を入れる方法もあります。
- ③ 青色の部分に入っていれば、拡大すれば地形分類図が表示されます。（拡大の途中で水色や緑、黄色が表示されますが、気にせずに地形分類図が表示されるまで拡大してください。）
- ④ 地形分類図上でクリックすると、「土地の成り立ち」と「この地形の自然災害リスク」が表示されます。くわしくは「[2. 地形分類図の見方・考え方](#)」および「[3. 水害リスクを知ることでできる沖積低地の地形](#)」をご覧ください。

2) 国土交通省の「重ねるハザードマップ」

ここで、陰影起伏図と土地分類基本調査（地形分類図）を重ねて見てください。

- ① [こちら](#) をクリックしてください。
- ② あなたのお住まいの場所へ移動しましょう。「検索」欄に地名を入れる方法もあります。
- ③ 地形分類図上でクリックすると吹きだしに説明があるので「凡例と水災害リスクを見る」で確認してください。
- ④ 「洪水浸水想定区域を見る」をクリックすると、主要河川の想定浸水地域（最大規模）を示すことができます。ただし中小河川については表示されないのでご注意ください。
- ⑤ 土砂災害の特別警戒区域（レッドゾーン）・警戒区域（イエローゾーン）も表示されます。ただし、まだ指定されていない地域がありますので類似の地形の場所は注意してください。（→「[4. 土砂災害の危険を知る方法](#)」をご覧ください。）